

## ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg 「日医工」

## 【この薬は？】

販売名	ミノサイクリン塩酸塩点滴静注用 100mg 「日医工」 Minocycline Hydrochloride for I.V. Infusion 100mg
一般名	ミノサイクリン塩酸塩 Minocycline Hydrochloride
含有量 (1バイアル中)	100mg (力価)

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、テトラサイクリン系抗菌剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、感染症の原因となる細菌の蛋白質の合成を妨げることにより、細菌の増殖を抑えます。
- ・次の病気の人に処方されます。

## 〈適応症〉

敗血症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、腹膜炎、炭疽、つつが虫病、オウム病

## 〈適応菌種〉

ミノサイクリンに感性の黄色ブドウ球菌、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、モラクセラ・ラクナータ（モラー・アクセンフェルト菌）、炭疽菌、大腸菌、クレブシエラ属、エンテロバクター属、インフルエンザ菌、シュドモナス・フルオレッセンス、緑膿菌、バークホルデリア・セパシア、ステノトロホモナス（ザントモナス）・マルトフィリア、アシネトバクター属、フラボバクテリウム属、レジオネラ・ニューモフィラ、リケッチア属（オリエンチア・ツツガムシ）、クラミジア属、肺炎マイコプラズマ（マイコプラズマ・ニューモニエ）

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にテトラサイクリン系薬剤で過敏症のあった人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・経口による摂取ができない人または経口以外の方法で栄養を摂取している人、全身状態の悪い人
  - ・腎臓に障害のある人
  - ・肝臓に障害のある人
  - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
  - ・授乳中の人
- 過去に抗生物質等でアレルギーをおこしたことがある人は、必ず医師または薬剤師に伝えてください。
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

### ●使用量および回数

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

一回量	初回：100～200mg（力価） 2回目以降：100mg（力価）
使用回数	1日1回または2回

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・めまい感があらわれることがありますので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作および高所での作業などは行わないでください。
- ・自己免疫性肝炎（体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる）があらわれることがありますので、この薬の使用中は定期的に検査が行われます。
- ・血液障害（発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸（どうき）、息切れ）があらわれることがありますので、この薬の使用中は定期的に検査が行われます。
- ・急性腎障害（尿量が減る、むくみ、体がだるい）、間質性腎炎（発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る）があらわれることがありますので、この薬の使用中は定期的に検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・小児（特に8歳未満の小児）が使用した場合、歯の着色・エナメル質形成不全や骨の発育不全をおこすことがあります。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
ループス様症候群 ループスようしょうこうぐん	体がだるい、関節の痛み、発熱、顔の赤い発疹、体重減少
結節性多発動脈炎 けっせつせいたはつどうみやくえん	発熱、体重が減る、筋肉の痛み、手足のしびれ
顕微鏡的多発血管炎 けんびきょうてきたはつけっかんえん	体がだるい、体重が減る、発熱、筋肉の痛み、関節の痛み
自己免疫性肝炎 じこめんえきせいかんえん	体がだるい、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（ステイブンス-ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん (ステイブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
多形紅斑 たけいこうはん	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節の痛み、喉の痛み
剥脱性皮膚炎 はくだつせいひふえん	ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、発熱をしばしば伴う
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ
血液障害 けつえきしょうがい	発熱、寒気、喉の痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い、動悸、息切れ
重篤な肝機能障害 じゅうとくなかんきのうしょうがい	体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、意識の低下
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい

重大な副作用	主な自覚症状
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
呼吸困難 こきゅうこんなん	息苦しい、息切れ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
PIE症候群 ピーアイイーしょうこうぐん	発熱、咳、息切れ、息苦しい
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る
精神神経障害 せいしんしんけいしょうがい	幻覚、妄想、興奮、抑うつ
出血性腸炎 しゅっけつせいちょうえん	激しい腹痛、血が混ざった下痢、発熱、ふらつき、息切れ
偽膜性大腸炎 ぎまくせいだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、体がだるい、発熱、体重減少、体重が減る、発熱をしばしば伴う、リンパ節（首、わきの下、股の付け根など）のはれ、寒気、出血が止まりにくい、体がかゆくなる、急激に体重が増える、むくみ
頭部	めまい、意識の消失、頭が重い、意識の低下、幻覚、妄想、興奮、抑うつ、頭痛
顔面	顔面蒼白、顔の赤い発疹、鼻血
眼	白目が黄色くなる、目の充血やただれ
口や喉	喉のかゆみ、吐き気、嘔吐、唇や口内のただれ、喉の痛み、歯ぐきからの出血、血を吐く、咳、喉が渇く
胸部	動悸、息苦しい、息切れ
腹部	食欲不振、お腹が張る、腹痛、強い腹痛、激しい腹痛、上腹部痛
背中	背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、関節の痛み、手足のしびれ

部位	自覚症状
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、ほぼ全身の皮膚が発赤する、フケやかさぶたのようなものを付着し、それがはがれ落ちる、皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、あおあざができる、発疹
筋肉	筋肉の痛み
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、下痢、油っぽい下痢が出る、血が混ざった下痢、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿量が増える

## 【この薬の形は？】

容器の形状	 
	バイアル                      キャップ
性状	黄色～黄褐色の粉末又は薄片

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ミノサイクリン塩酸塩
添加剤	pH 調整剤

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売元：日医工株式会社 (<https://www.nichiiko.co.jp>)

くすりの相談窓口の電話番号 TEL (フリーダイヤル)：(0120) 039-215

受付時間：9時～17時 (土、日、祝祭日その他当社の休業日を除く)